

内部監査の実施状況報告書

機関番号 : : : :	研究機関名	連絡先	課・係等	氏名	連絡先 TEL (内線)	FAX

実施期間	実施者	通常監査		特別監査	
		監査実施研究課題数	監査の内容・結果	監査実施研究課題数	監査の内容・結果
		件		件	
※ 内部監査を実施する年度において、当該研究機関において科研費の交付を受けている研究課題数： 件					

内部監査の実施状況報告書

機関番号	研究機関名	連絡先	課・係等	氏名	連絡先 TEL (内線)	FAX
〇! 〇! 〇! 〇! 〇	△ △ △ △		〇〇課〇〇係	□ □ □ □	12-3456-7890(1111)	09-8765-4321

実施期間	実施者	通常監査		特別監査	
		監査実施研究課題数	監査の内容・結果	監査実施研究課題数	監査の内容・結果
平成〇〇年〇月〇日 ~〇月〇日	〇〇課〇〇係長 〇〇係員 △△課△△係長 △△係員	件 30	[監査の内容] ・ 収支簿の確認 ・ 証拠書類（領収書、見積書、納品書等）の確認 ・ ----- ・ ----- ・ ----- [監査の結果] ・ 適正な収支管理が行われていた ・ ----- ・ ----- ・ ----- ・ -----	件 3	[監査の内容] ・ 研究者に購入物品の使用状況を確認 ・ 業者取引内容を確認 ・ 設備備品の設置状況及び稼動状況等の確認 ・ ----- ・ ----- ・ ----- [監査の結果] ・ 研究者は購入物品を適正に使用していた ・ 業者と適正な取引が行われていた ・ ----- ・ ----- ・ ----- ・ -----

※ 内部監査を実施する年度において、当該研究機関において科研費の交付を受けている研究課題数： 300 件

様式 T - 3 別紙 1 - 1 〔作成上の注意〕

次の点に留意して科学研究費補助金の内部監査を実施した上で、実施状況報告書（別紙 1 - 1）を作成すること。
また、実施状況報告書（別紙 1 - 1）は、文部科学省・日本学術振興会の双方に、同一のものを応募書類とともに提出すること。

- ① 監査の種類
 - ・通常監査
平成 17 年度に当該研究機関に所属する研究者が研究代表者として文部科学省・日本学術振興会の科研費の交付を受けている研究課題数（新規及び継続）の概ね 10% 以上の数を対象として行う監査
 - ・特別監査
「通常監査」を行う研究課題数のうち概ね 10% 以上の数を対象として行う監査
- ② 対象研究種目
「特別推進研究」、「特定領域研究」、「基盤研究（S・A・B・C）」、「萌芽研究」、「若手研究（A・B）」、「特別研究促進費」、「特別研究員奨励費」及び「学術創成研究費」
- ③ 監査対象研究課題
 - ・平成 16 年度に補助金の交付を受けた新規及び継続の研究課題
- ④ 監査対象研究課題の抽出方法
各研究機関において無作為に抽出すること。
- ⑤ 監査の項目・方法・体制・時期、その他必要な事項
補助金の執行状況を的確に把握し、補助金の適正な使用を確保するためのものであることを考慮して、各研究機関において適宜定めること。